

## 【保健事業プラン2024の構成】

第1章 「保健事業プラン2024」とは

第2章 「保健事業プラン2018」の振り返りと  
「保健事業プラン2024」の方向性

第3章 現状と課題

第4章 「保健事業プラン2024」における保健事業の取組

第5章 「保健事業プラン2024」における成果指標

資料編 ※概要版では割愛

# 第1章 「保健事業プラン2024」とは

---

---

## 1 国の策定フレーム

---

国が全ての保険者に策定を求めている計画として、「データヘルス計画」と「特定健康診査等実施計画」があります。

「データヘルス計画」とは、レセプトや健診結果等のデータの分析に基づいて加入者の健康保持増進を行うための事業計画です。

「特定健康診査等実施計画」とは、生活習慣病の発症・重症化予防を目的として、特定健康診査（以下「特定健診」という）及び特定保健指導を実施するための計画です。

## 2 札幌市における計画策定の経緯

---



## 3 計画の位置付け

---

「保健事業プラン2024」は、札幌市の総合計画である「札幌市まちづくり戦略ビジョン」のウェルネス分野の個別計画として位置付けています。

## 4 計画期間

---

令和6年度（2024年度）～令和11年度（2029年度）の6年間です。

## 第2章 「保健事業プラン2018」の振り返りと 「保健事業プラン2024」の方向性

### 1 「保健事業プラン2018」の振り返り

#### (1) 成果指標の振り返り

##### ○ 「保健事業プラン2018」の現状値、令和3年度の目標値と実績値

成果指標	現状値（平成28年度）	目標値（令和3年度）	実績値（令和3年度）
特定健診受診率	20.3%	28.0%	18.9%
特定保健指導実施率	9.1%	19.0%	11.9%
重症化予防の対象となる人の割合	27.9%	27.9%未満	30.9%

令和3年度（2021年度）時点では、目標には達成しておりませんでした。

その要因ですが、ひとつには新型コロナウイルス感染症の影響が挙げられると考えています。

#### (2) マネジメント面からの振り返り

##### ア データ分析

分析が生活習慣病関連のデータを中心としており、結果として取組内容も生活習慣病対策に限ったものとなっていました。また、主に札幌市のデータの分析結果により課題を抽出しており、全国データとの比較が不足していました。

##### 「保健事業プラン2024」では

- 生活習慣病に限らず医療費全般の分析を行いました。
- 全国データとの比較も行い、精度の高い分析となるようにしました。

##### イ PDCA

PDCAを進めるよう取り組んできましたが、これを十分に機能させることができませんでした。その要因として、①国の目標を意識したことに伴う高すぎる目標数値があったこと、②計画に具体的な事業内容を掲載したため、事業の見直しが難しくなったことが挙げられます。

##### 「保健事業プラン2024」では

- 事業内容の掲載レベルをまずは大きな括り（取組項目）として掲載し、それを評価するための指標を定めました。
- その指標については適切な水準としました。

## ウ 事業の優先度

事業の優先度を判断するための「軸」（何が重要なのかを判断するための基準）が明確になっておらず、このため国からの交付金の対象となることから実施することとした取組などもありました。

「保健事業プラン2024」では

- 保健事業のねらいを「加入者のQOLの維持・向上」と明確化しました。
- 保健事業を実施する上での「コンセプト」を設けました。

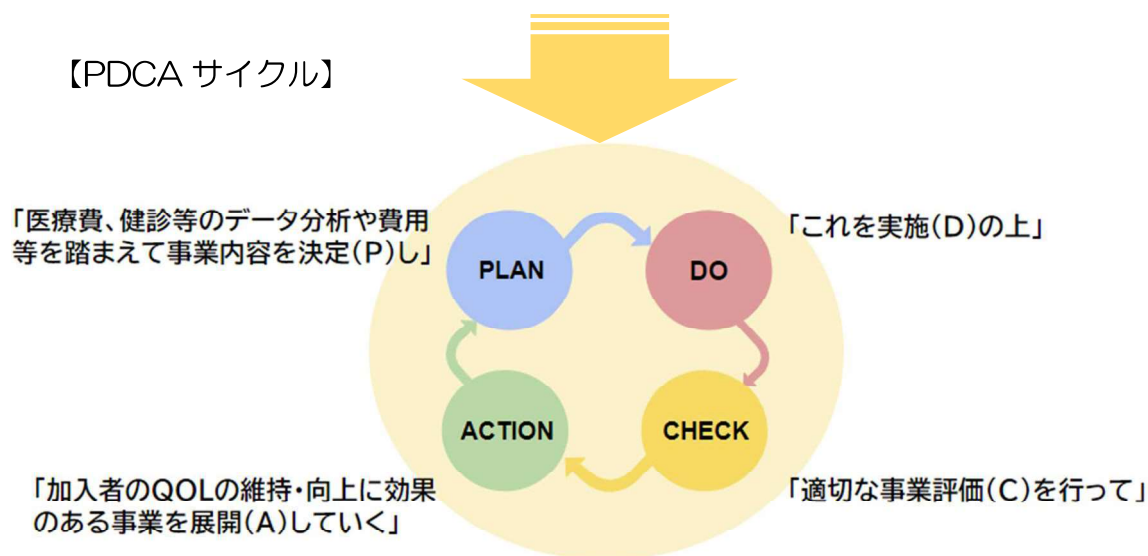
## 2 保健事業のコンセプトと取組の方向性

### (1) 保健事業のコンセプト

国保の加入者が、自らの健康状態を把握し、健康を維持・増進するための行動をとることができるよう取組を推進していきます。

取組の推進にあたっては、医療費、健診等のデータ分析や費用等を踏まえて事業内容を決定し、これを実施の上、適切な事業評価を行って、加入者のQOLの維持・向上に効果のある事業を展開していきます。

【PDCA サイクル】



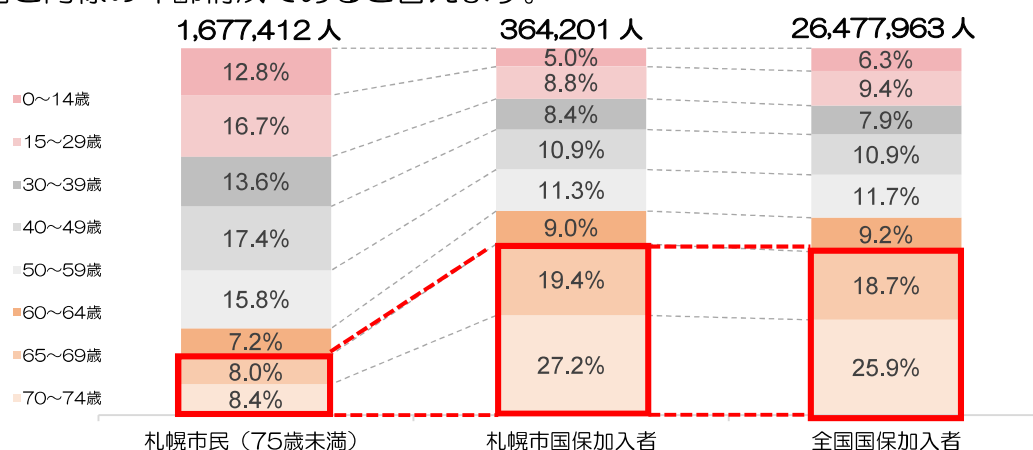
### (2) 取組の方向性

チェック	健診などにより、自らの健康状態を確認してもらうこと
フォロー	健診結果やレセプトの内容に応じた適切な支援を行うこと

## 第3章 現状と課題

### 1 国保加入者の人口構成

札幌市民（75歳未満）と札幌市の国保加入者の年齢構成を比較すると、65歳～74歳の高齢者の割合は、札幌市民は16.4%（8.0%+8.4%）であるのに対し、国保加入者は46.6%（19.4%+27.2%）と高くなっています。一方で、札幌市の国保加入者と全国の国保加入者を比較すると、札幌市の方が若年層の割合が低く、高齢層の割合が高い傾向も見られますが、その差は大きくはなく、概ね全国と同様の年齢構成であると言えます。

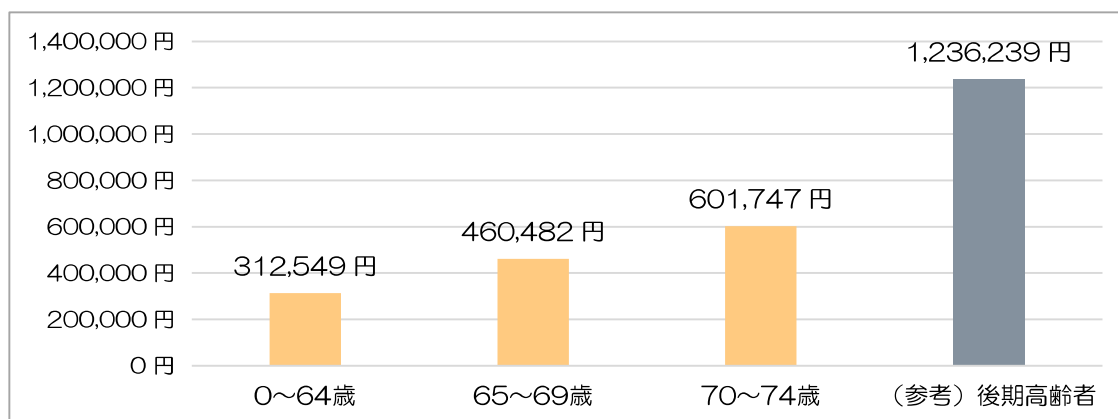


※「札幌市民」は令和2年（2020年）10月1日現在、「札幌市国保加入者」と「全国国保加入者」は令和2年（2020年）9月末日現在

### 2 年代別一人当たり医療費

新型コロナウイルス感染症の影響をほとんど受けていない令和元年度（2019年度）における札幌市の国保加入者の年代別一人当たり医療費は、年齢を重ねるとともに増加する傾向が見られます。

〇年代別一人当たり医療費（令和元年度）



【出典】国保データベース（KDB）システム